



YU-INFORMATION
2012 JANUARY No.105
山口大学広報誌

キャリア教育と就職支援

学生一人ひとりに応じた
きめ細やかなキャリア教育と就職支援。

■インタビュー

農学部獣医学科生体機能学講座 獣医薬理学研究室 佐藤 晃一 教授

日本初!
世界レベルの獣医学教育を目指した
共同獣医学部の設置。





YU-INFORMATION
2012 JANUARY No.105



「志」つなぎ 伝える 二百年

山口大学は、長州藩士・上田鳳陽によって1815年に創設された私塾山口講堂を起源とし、明治・大正期の学制を経て、1949年に、地域における高等教育および学問研究の中核たる新制大学として創設されました。来る2015年には、山口講堂創設から創基200周年を迎えます。

山口大学は、地域に根差した大学として、さらなる充実と飛躍を期し、次なる100年をより有意義なものにするための記念事業を計画しています。



URL: <http://www.yamaguchi200.jp/>

| テーマ

キャリア教育と就職支援

長引く経済不況の影響により、
大学生の就職内定率は年々悪化しています。
こうした厳しい状況を受けて、
即戦力となる優秀な学生を採用したいという
企業側の要望はさらに高まっています。
山口大学では、企業が求める人材を輩出するために、
学生一人ひとりの主体性を尊重した
キャリア教育・就職支援を強化しています。
そこでYU-INFORMATION1月号では、本学の充実した
キャリア教育と就職支援についてご紹介します。

CONTENTS

■特集	01
学生一人ひとりに応じた きめ細やかなキャリア教育と就職支援。 関係機関と連携した就職支援 主体的に学ぶ学生たちを応援！ 卒業生の産業別就職先	
■インタビュー	10
農学部獣医学科生体機能学講座 獣医薬理学研究室 佐藤 晃一 教授 日本初！世界レベルの獣医学教育を目指した 共同獣医学部の設置。	
■連載企画	12
考える就職活動 [第5回] 公務を仕事にするということ	
■年間企画	13
NEWS&TOPICS こちら YU-PRSS !	

YU INFORMATION

ワイユーインフォメーション
山口大学広報誌 第105号

山口大学総務部広報課
〒753-8511 山口県山口市吉田 1677-1
TEL 083-933-5007 FAX 083-933-5013
E-MAIL : sh011@yamaguchi-u.ac.jp
URL : <http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

編集発行／山口大学広報委員会

西田輝夫（副学長・総務企画担当）／木下武志（副学長補佐）／坪郷英彦（人文学部）
石井由理（教育学部）／成富敬（経済学部）／白石清（理学部）／坂井田功（医学部）
清水則一（工学部）／阿庭上弘行（農学部）／何曉毅（大学教育機構）
近久博志（産学公連携・イノベーション推進機構）／小河原加久治（大学情報機構）
富平美波（エクステンションセンター長）／兵藤隆（アドミッションセンター長）
久保元伸（大学院技術経営研究科）／梅木哲也（総務部広報課）

企画・編集・撮影／セントラル広告

デザイン／ジエータップ

印刷／大村印刷

学生一人ひとりに応じた きめ細やかな キャリア教育と就職支援。

大学で過ごす4年間は
その後の人生を大きく左右する大切な時期です。

それぞれの専門分野を追究するのと同時に、
キャリアや将来を意識することも重要となってきます。

本学では、働くことをより身近に感じられるように、
さまざまなキャリア教育や就職支援を行っています。

今回は、学生支援センターの平尾教授に、
その具体的な取り組みについてお聞きしました。





学生支援センター・就職支援部 教授 平尾 元彦
Hirao Motohiko

シンクタンクの研究員などを経て現職。博士(マネジメント)。キャリア教育・就職支援の教員として、「キャリアと就職」「キャリア形成とコミュニケーション」などの授業を担当するほか、就職支援室に常駐して、学生の就職相談に対応。専門分野は地域経済学。

学生の主体性を尊重した支援

大学設置基準改正に伴い、昨年4月から大学におけるキャリア教育が義務化されました。そうした時流を先取りして、本学では10年以上前からキャリア教育科目を導入しており、大学入学後の早い段階から働くことや自らの将来について考えさせる機会を設けています。

ここで踏まえておきたいのが、価値観や能力は人によって異なるため、「大学で何を学ぶべきか」「自分にとって何が必要か」という問い合わせに対する答えは、学生自らが見つけなければならないということです。そのため、本学では、学生一人ひとりが主体性をもってキャリア形成

や就職活動に取り組むことができるよう、就職支援室を中心にさまざまな支援を行っています。

吉田キャンパスの共通教育棟にある就職支援室には、専門のアドバイザーを配置しており、就職に関する各種情報提供や各種セミナー・説明会の企画と実施、エントリーシートの書き方、職業意識の啓発も含めた支援を行っています。また、YYジョブサロンのキャリアカウンセラーによる就職相談も受け付けています。

また、業界動向や仕事をより深く理解できるように、経営者や人事担当者、本学の卒業生など、社会で活躍している皆様をキャンパスにお招きする「学内業界・企業研究会」も行っています。

この研究会は、本学におけるキャリア教育の一環として位置づけられています。「説明会」ではなく「研究会」としているのは、学生に主体性をもって取り組んでほしいとの願いからです。

「先輩の話がもっと聞きたい」という学生のリクエストを受けて、8年前から「就職活動交流会」も始めました。就職活動を体験した4年生と3年生との交流を目的とした楽しいイベントです。

企業と求職者のマッチングを支援し、学生の県内定着を推進するために、インターンシップ(就業体験)にも力を入れています。県内高等教育機関や経済団体による「山口県インターンシップ推進協議会」に加入して地元企業との連携を強化し、広くインターンシップに

参加できる体制を整えています。本学の理念に沿った「発見し、はぐくみ、かたちにする」ことができる優秀な人材、地域にイノベーションを巻き起こすようなたくましい人材を供給することも、我々の重要な使命だと考えています。

そのほかにも、大原学園グループ、山口大学生活協同組合と連携し、各種試験対策講座や資格取得対策講座も開講しています。

特色あるキャリア教育と就職支援

本学のキャリア教育・就職支援の特徴としてまず挙げられるのが「組織的活動」です。入学から卒業まで学生をトータルに支援する大学教育機構が中心となり、各学部・研究科と連携してさまざまな支援活動を展開しています。

次に、正課内外のさまざまな教育活動を連携させた「教育連携」です。例えば「キャリアと就職」の授業では、キャリア形成を自身の課題として捉えてもらうために、学生に本を選ばせ、誰のどのような生き方に感銘を受けたのかをレポート形式で提出させています。

学内業界・企業研究会と連動させた取り組みとしては、社会人へのインタビューという課題もあります。これは、「学内業界・企業研究会」などで本学に来られた社会人へのインタビューを通じて、自分の問題や課題を発見するとい

うものです。学生たちはこの機会を活用して、業界や企業を研究すると同時に、自身のキャリア形成を図ることができます。

最後は、「相談重視」です。学生一人ひとりに向き合うため、個別支援や少人数支援を充実させ、きめ細やかな支援を行っています。近年は、対人コミュニケーションが苦手な学生向けの「会話をする力を持つための相談会」、社会人基礎力を高めるための「新聞の読み方講座」、留年生や6・7・8年生向けのガイダンスなど、就職活動がうまく進んでいない学生のための個別支援を強化しています。

本から学ぶ、人から学ぶ キャリア学習の3つの目標

学生がキャリアを形成する上でまず必要なのは、「キャリアの理論と実践力」を身につけること。簡単に言えば、いろいろな人の働き方を知ることです。そのため、就職支援室に「働く」を研究する書籍コーナー、総合図書館に「キャリア学習・就職活動支援コーナー」を設け、学生の学びを支援しています。本から学ぶことももちろん大切ですが、学生の皆さんには、さまざまな人との出会いを通じて、将来を選ぶ力を身につけてほしいと思っています。

次に重要なのが、「経済・社会の理解と実践力」を身につけることです。よく「何がやりたいのか分からぬ」「何に

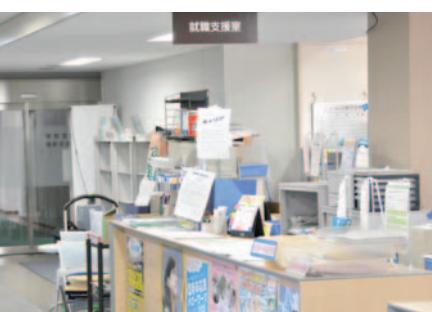


向いているのかわからない」という話を耳にします。誰でも知らないものに対して興味を持つことはできません。まずは、社会や世界を正しく理解することが大切です。そうすれば視野が広がり、自分の進みたい方向も見えてくるはずです。

最後に、働く上で基盤となる「社会人基礎力」を身につけることも欠かせません。就職支援室には「大学生の“基礎力”を学ぶ書籍コーナー」を設置しているので、ぜひ活用してください。

自分なりの目的意識を持って前へ

面接時に必ずといっていいほど聞かれるのが「大学時代に力を注いだことは何ですか」という質問です。それに対して自信を持って答えられるものを見つけてほしいと願っています。自分なりの目的意識ややりがいが見つかれば、将来への道は必ず開けます。学生の皆さんには、自分が興味を持ったことに本気で取り組み、本学での4年間を有意義に過ごしてほしいと願っています。そして、4年間で身につけた力を、就職という次のステージにつなげるために、就職支援室を大いに活用してください。私たちが全力でバックアップします。



関係機関と連携した就職支援

近年における厳しい就職状況を改善するために、大学教育機構が中心となり、全学的な就職支援・キャリア教育に取り組んでいます。さらに、「YYジョブサロンin山大」や「ハローワーク出張相談」など、県内の関連機関との連携による就職支援も強化しています。

■ YYジョブサロン

山口市小郡にある山口県若者就職支援センター「YYジョブサロン」は、若者のための就職情報の提供・相談・能力開発・職業紹介などの一貫した支援を行うワンストップサービスセンターとして、平成16年に設置されました。利用の対象となるのは、概ね39歳までの求職中の方、大学・短大・高専・専修学校の在学生・卒業生、県外で働くUJIターン希望者です。

同サロンでは、専門カウンセラーによる個別相談、「自己分析」や「応募書類の書き方」などの各種スキルアップセミナー、イ

就職活動に役立つあらゆる情報を提供

ベント・就職フェアの情報提供といったさまざまな支援を行っています。また、山口県内の各ハローワークから毎週寄せられる求人情報や各種パンフレット、県内企業ガイドブックなどを自由に閲覧・検索することができます。そのほか、インターネットコーナーや交流スペースなども設置されています。初めての就職活動に不安を抱いている方、就職活動がうまくいっていない方、就職に備えてスキルアップを図りたい方など、個々のニーズに応じた就職支援を行っているので、ぜひ活用してください。

■ YYジョブサロンin山大

学生一人ひとりの「なりたい！」を応援

本学の吉田キャンパスと常盤キャンパスには、山口県若者就職支援センター「YYジョブサロン」の就職相談コーナーが開設されています。YYジョブサロンのキャリアカウンセラーによる履歴書の添削や面接指導などの個別相談をはじめ、エントリーシート対策会、就職活動対策セミナー、グループディスカッション練習会など、さまざまなサポートを行っています。就職活動の悩みや不安、就職活動を上手に乗り切るコツなど、気軽にご相談ください。

吉田キャンパス

日時／原則 毎週火曜の10:00～17:00

場所／就職支援室(共通教育棟1階)

常盤キャンパス

日時／原則 毎週木曜の10:00～17:00

場所／工学部就職相談室(工学部本館1階)



■ 田中久美子カウンセラーから

YYジョブサロンin山大は、学生のみなさんの「なりたい」を応援するため、集団と個人の2本柱で支援を行っています。

集団支援に関しては、応募書類の作成講座や面接練習会等の就職支援セミナーを行っており、学生の皆さんには「主体的に関わる」をモットーに取り組んでもらっています。私たちも、皆さんが仲間と楽しく学び合える空間作りをいつも心掛けています。

それぞれに合った支援を提供する個別就職相談の時間も大切にしています。応募書類の添削など、具体的に相談内容を決

めて来られる人もいれば、「なんとなく就職活動が不安」など、漠然とした気持ちを抱えて来られる方もいます。一人ひとり置かれた状況は違うので、どのような相談でもしっかりと受け止めて必要なサポートを行える体制を整えています。皆さんの中で少しでも就職に関して気になることがあれば、就職支援室を訪れてみてください。





■ハローワーク

ハローワークが新卒者の就職を支援！

以前は、就職活動＝学生個人で行うべきものと捉えられていたため、大学生の就職活動について、国は積極的に支援をしていませんでした。しかし、就職先が決まらず、卒業後も継続して就職活動を行っている人が増加しているという現状を受けて、厚生労働省は、新卒者・既卒者を専門に就職を支援する「新卒応援ハローワーク」を全国に設置しました。同ハローワークは、新卒者はもちろんのこと、Uターン・Iターン就職、特殊分野への就職などの、多種多様なニーズに対応しています。

地域の実状を踏まえた効果的な就職支援

山口県でも平成22年に山口県若者就職支援センター内に「山口新卒応援ハローワーク」が開設されました。同ハローワークでは、大学院・大学・短大・高専・専修学校（専門課程）などの新卒予定者と、卒業後概ね3年以内の未就職者を対象に、就職に関するさまざまな情報提供やキャリアコンサルティングを行っています。

近年の厳しい就職状況を考慮して、県内各企業に既卒者の採用も働きかけています。既卒者が応募可能な求人も数多く寄せられているので、新卒者のみならず、既卒者もぜひ活用してください。

また、就職に関する相談事は、何も3・4年生に限ったものではありません。1・2年生のうちからやるべきこと、考えておくべきことはたくさんあります。さまざまな学生活動に打ち込む中で、就職に関する疑問や質問が出てきたら、何でもご相談ください。

ハローワークの新卒求人はインターネットからも検索できます。登録は不要ですので、ぜひ利用してください。

求人情報

ハローワークインターネットサービス

<https://www.hellowork.go.jp/>

各種情報収集

大学等就職情報WEB提供サービス

<https://job.gakusei.go.jp/>

■主なサービス内容

- 求人情報提供
- インターネットによる情報提供
- 職業相談・職業紹介
- 大学巡回相談
- 求人開拓
- 適職診断・臨床心理士による相談・職業訓練の斡旋

■山口大学への巡回相談

学卒ジョブソポーターによる出張相談を実施！

毎週火曜日の午後、就職支援室では、新卒応援ハローワークの巡回相談が行われています。就職活動の進め方や応募書類の作成、面接対策など、就職に関することなら何でも気軽にご相談ください。また、学内合同企業説明会などにも相談ブースを設置する場合もありますので、併せてご利用ください。巡回相談を希望される場合は予約が必要です。詳細は、山口大学就職支援室へお問い合わせください。

●問い合わせ

山口大学就職支援室 TEL 083-933-5145

山口新卒応援ハローワーク TEL 083-973-8080

〒754-0001
山口市小郡高砂町1-20
平日／8:30～19:00
土曜／8:45～17:00

The map shows the following locations relative to JR Shin-Yamaguchi Station:

- JR 新山口駅 (JR Shin-Yamaguchi Station)
- 至下関 (To 下関) and 至岩国 (To 岩国)
- 新幹線口 (Shinkansen Exit)
- ニッポンレンタカー (Nippon Rent-a-Car)
- 山口グランドホテル (Yamaguchi Grand Hotel)
- 山口県若者就職支援センター (Yamaguchi New Graduate Employment Support Workforce) - marked with a red arrow
- パチンコ店 (Pachinko Parlor)
- 山口新卒応援ハローワーク (Yamaguchi New Graduate Employment Support Workforce) - marked with a red arrow
- 小郡南小学校 (Kokubun-nomoto Elementary School)
- ナフコ (Nafco)
- ロックタウン (Lock Town)

主体的に学ぶ学生たちを応援！

本学では「自分のキャリアは自分で考え、選びとる」を目標に、学びの機会を多く設けています。低学年からのキャリア教育をはじめ、インターンシップの推進、社会人の方々を学内に招いた研究会の開催など、職業リアリティを向上させるための多彩な支援を行っています。

■就職支援室

一人ひとりの就職活動をサポート

学生一人ひとりの就職活動を支援するために、吉田キャンパスの共通教育棟1階にある「就職支援室」に、経験豊富な専任教員と就職アドバイザーを配置しています。個別就職相談はもちろんのこと、面接の練習、エントリーシートの添削も行っています。また、就職に関する各種情報提供をはじめ、学内業界・企業研究会の企画と実施、就職情報満載の学内メールマガジンの配信なども行っています。



■キャリア教育科目

授業を通じてキャリア形成を支援

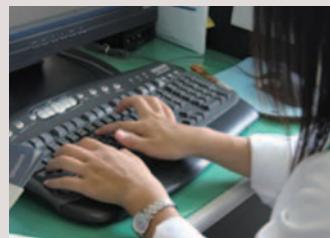
将来を見据えて大学生活を有意義に過ごすための考え方と方法論を学ぶ「キャリアデザイン」、働くための基礎知識を得る「キャリアと就職」、働く上でのコミュニケーションの大切さを学ぶ「キャリア形成とコミュニケーション」などのキャリアに関連した共通教育科目を開講しています。自分の問題としてキャリアや就職を捉えもらうため、各種支援活動や個別相談などの正課外の活動とも連携しています。



■インターンシップ

働くことをリアルに理解・体験

インターンシップとは、一定期間、学生が企業などで行う就業体験のことです。実際に働くことを体験することで、業界や企業に対して描いていたイメージとのギャップを埋めるのと同時に、就職後の自分をリアルに想像し、仕事や企業を多面的に考えるきっかけを得ることができます。就職支援室では、県内事業所でのインターンシップのマッチングを行っています。



■キャリア学習・就職活動支援コーナー

キャリア・就職支援の情報発信拠点

学生たちの主体的な学びを応援するために、キャリア形成や就職活動に関連した書籍を多数配架しています。総合図書館・工学部図書館には「キャリア学習・就職活動支援コーナー」、就職支援室には「働く」を研究する書籍コーナー」や「キャリア学習・就職活動支援コーナー」、「大学生の「基礎力」を学ぶ書籍コーナー」などを設置し、働くことや自分自身を理解するための有効な手立てとしています。



■学内業界・企業研究会

業界・企業をリアルに知るチャンス！

学内業界・企業研究会は、学内にいながらにして、多くの業界・企業について知ることができるチャンスです。本学のキャリア教育の一環として位置づけられているこの研究会は、経営者や人事担当者、本学のOB・OGなど、企業や官公庁で働いている方々を、吉田・常盤の両キャンパスにお招きして、毎年11月～2月に開催しています。平成22年度は、期間中にのべ425社、学生7985人の参加がありました。この機会を通じて、業界動向や会社・仕事を幅広く研究し、自身の就職活動ならびにキャリア形成に役立ててくれることを期待しています。



Message

内定者のメッセージ

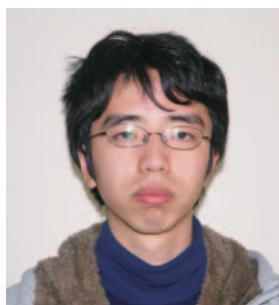
濱田 茂明

Hamada Shigeaki

人文学部人文社会学科（4年）
内定先：国立大学法人

私が公務員試験に合格するために重要なと思うのは志望理由です。志望理由というと、「自分が何をしたいか」ということに気を取られがちですが、自己分析を行い、「自分にどんなことが出来るか」「どんな人間なのか」といった人物像を明確にすることが大切です。採用側が求める人物像と合致すれば、それも立派な志望理由になると思います。時折、「公務員は安定しているから」という理由で志望される方がいます。もちろんそれも立派な理由の一つですが、その気持ちだけで合格するのは難しいと思います。なぜ自分は「安定」というものに魅力を感じるのか、公務員は本当に安定しているのか、どのような意味で安定しているのかといったことを深く考えてみて下さい。

そのほか、共通教育科目の「キャリアと就職」、山口県の政策について学ぶ授業や講演会、法律や経済入門の授業で学んだことが、公務員試験に大変役立ちました。皆さんも、授業で学んだことを生かして、合格を目指してください。



中森 拓磨

Nakamori Takuma

経済学部経済学科（4年）
内定先：製造業（電子部品）

私自身の経験から後輩の皆さんにぜひ伝えたいことは、「自分が仕事に求めらるべきをできるだけ具体的に自覚すること」、つまり自己分析の大切さです。志望動機を明確にした上で、特定の企業や業種を狙い撃ちすれば、自ずとモチベーションが上がり、面接の際に説得力のある回答ができると思います。

私の場合、漠然と「留学で学んだ中国語を生かしたい」という思いはあったものの、具体的な理由や職種などの条件については絞りきれておらず、10社受けても二次、三次面接まで通過することができなくて大変苦しい思いをしました。最終的には、「中国語を仕事に生かしたい」「親のことを考えて地元に本社がある企業に就職したい」「中国での市場シェアが高く、今後の発展性が高い企業がいい」といった志望動機を明確にすることで、希望する地元企業の内定を獲得することができました。今後は、語学力を発揮しながら、自身のスキルも磨いていきたいと思っています。



城一 雄輝

Jyouichi Yuuki

工学部循環環境工学科（4年）
内定先：金融業（都市銀行）

就職活動のアドバイスは、「自分の足で歩いて、たくさんの企業・人と会うこと」に尽きます。なぜなら、その過程の中で、自分の考え方や思いを明確にすることができます。

例えば、「海外で働きたい」という漠然とした思いがあったとします。「車の海外営業の話は好きだけど、食品関係の海外事業の話には興味が湧かない」と思えば、その理由を追求することで自己分析につなげることができます。

また、企業の人事担当者と話すことで、自分の考えが洗練されることもあります。なぜなら、相手は自分の話をどんどん掘り下げてくださる面接のプロフェッショナルだからです。

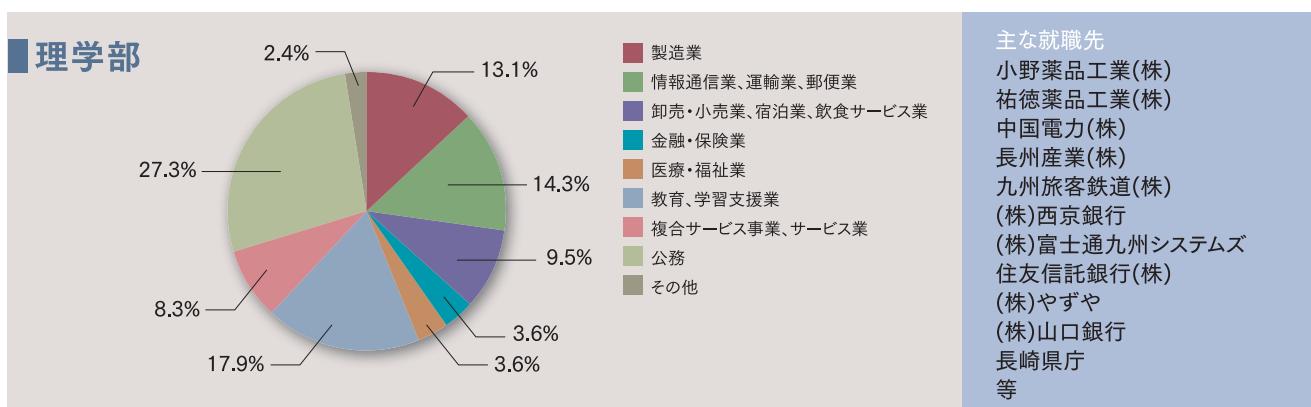
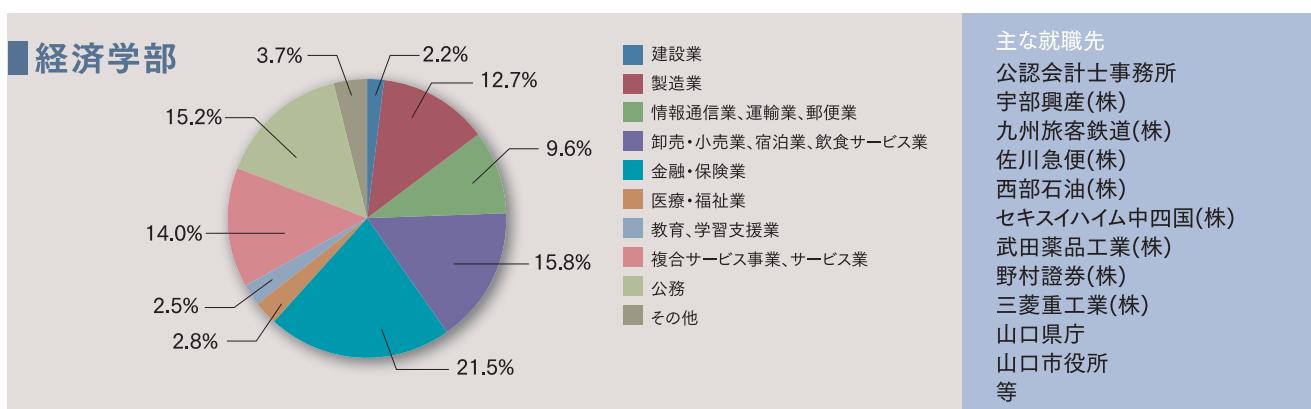
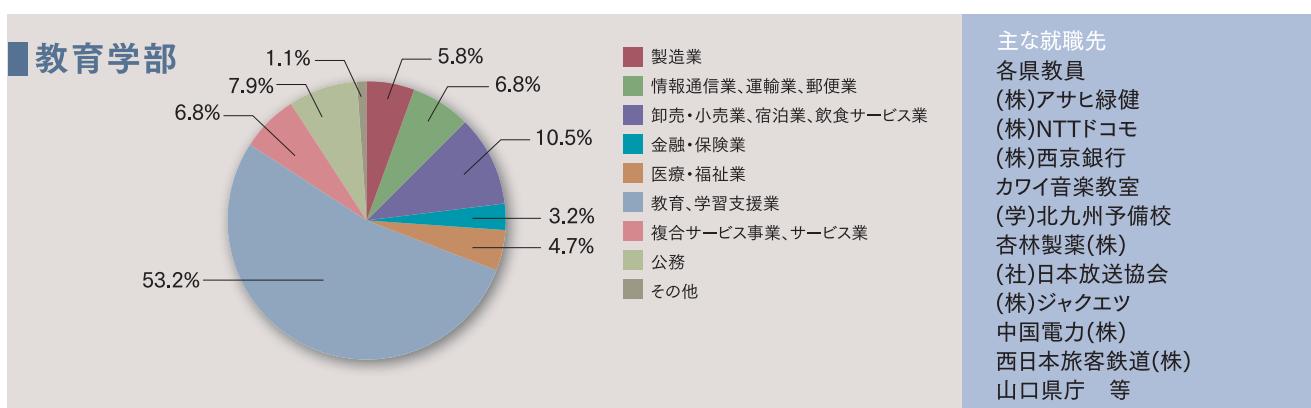
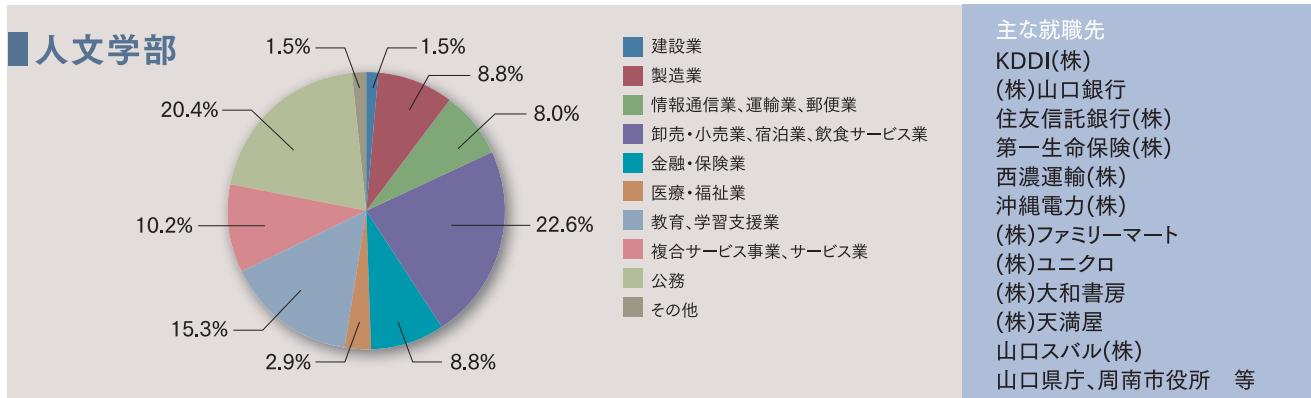
就職活動中は、地方大学であるため、交通費や移動時間に苦労し、それがモチベーション低下の要因につながっていくこともしばしばあります。後輩の皆さんには、その苦しさをバネにして、「人の出会い」を喜びに変え、頑張ってほしいと思います。



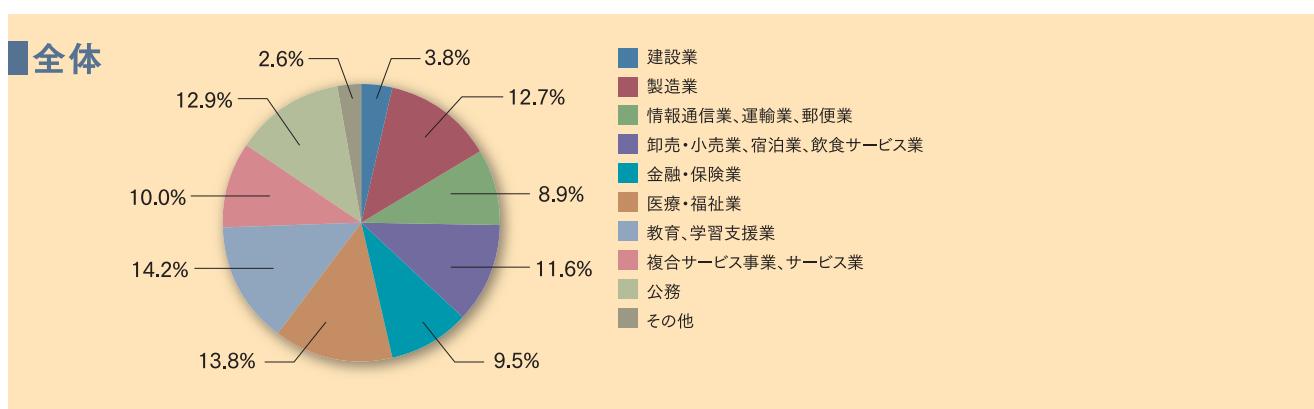
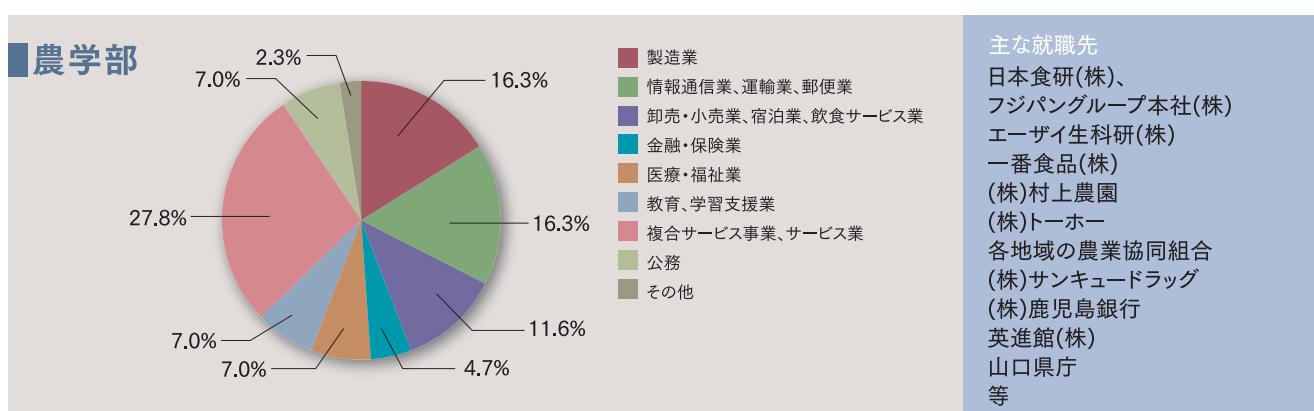
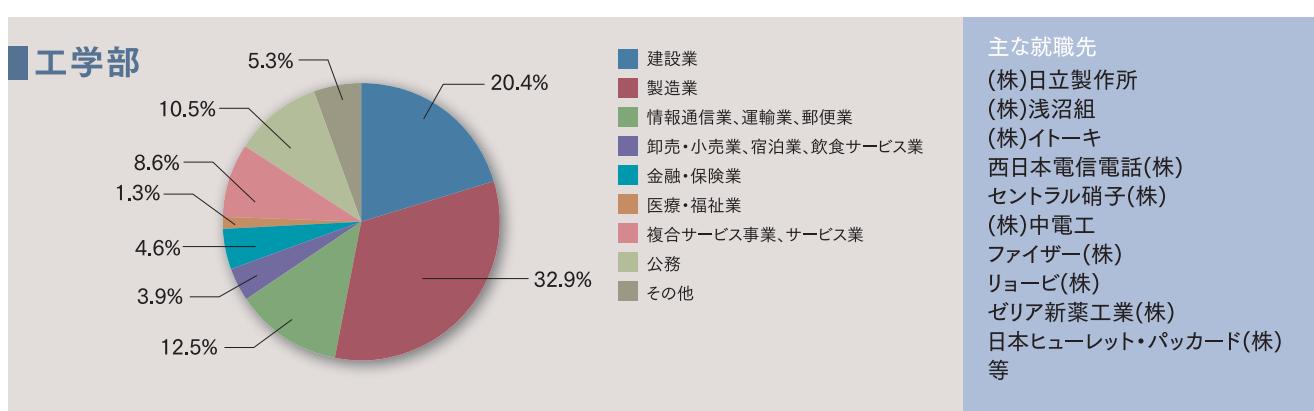
卒業生の産業別就職先

長引く不況の中、本学の各学部の学生は、多種多様な業種への就職内定を獲得しています。また、卒業後の進路として大学院進学を目指す学生も増えています。就職支援室では、学生が希望する進路の実現のため、今後もきめ細やかな指導などを行い、様々な取り組みを行っていきます。

平成23年4月末日現在



平成23年4月末日現在





日本初！世界レベルの 獣医学教育を目指した 共同獣医学部の設置。

山口大学では、平成24年度の鹿児島大学との
共同獣医学部の開設を目指して
準備が進められています。
そこで、共同獣医学部設置の背景や目的、
実現後に期待されるメリットなどについて、
農学部獣医学科の佐藤晃一教授にお聞きしました。

農学部獣医学科生体機能学講座 獣医薬理学研究室

佐藤 晃一 教授

Sato Koichi

※1 西は、山口大学・鳥取大学・宮崎大学。
鹿児島大学の4大学。東は、帯広畜産大学・
岩手大学・東京農工大学・岐阜大学の4大学
で構成（2004年当時）。

※2 獣医学教育の国際基準として、獣医学卒業生に期待される資質能力を示したもの。



獣医学教育・研究の拠点となる 国内最大規模の共同学部として

近年、獣医学を取り巻く環境は大きく変化しています。BSEを契機とした食の安全への関心の高まり、鳥インフルエンザに代表される人獣共通感染症への対応、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)加盟後に予測される輸入畜産物への対応など、獣医の職域や獣医学の研究領域は年々広がりを見せてています。

戦後、アメリカの主導で新教育体制がつくられて以来、日本の医歯薬学教育は目覚ましい発展を遂げてきました。しかし、獣医学教育体制は、約65年間、基本的にほとんど変わっていないというのが現状です。国際的教育ライセンス(Accreditation)を取得するための施設や設備も用意されておらず、欧米諸国の教育レベルには追いついていません。

こうした流れを受けて、日本の獣医学教育の改善と充実が強く呼ばれるようになり、約10年前に国立大学獣医学系学部・学科の再編・統合の検討がなされました。このときの中心になったのが大学院構成大学でした。当時の国立大学で獣医学系大学院があったのは北海道大学と東京大学に加えて、東日本と西日本の大学院連合獣医学研究科^{※1}でした。山口大学は西の基幹校であり、連合獣医学研究科構成校として再編の機運が高まっていました。残念ながら再編・統合の構想は頓挫しましたが、平成20年に文部科学省に設置された「獣医学教育の改善充実に関する調査研究協力者会議」より大学間の連携協力による獣医学教育の再編が提案されたのを受け、山口大学大学院連合獣医学研究科の構成大学間における検討が重ねられました。そして、最終的に本学と鹿児島大

学による共同獣医学部の設置に向けて準備を進めることになりました。

世界レベルの教育を目指した 教育体制とシステムの構築

獣医学教育改善の全国的な取り組みとして最初に行われたのが、獣医学教育モデル・コア・カリキュラムの作成です。全国大学獣医学関係代表者協議会を中心に議論を重ね、昨年3月に完成しました。これは、2010年にOIE(国際獣疫事務局)より提言されたミニマム・コンピテンシー^{※2}もできる限り反映させた内容となっています。これによって、国際化に対応した獣医学教育の共通到達目標を定めることができました。現在はこれを基にした獣医学共通テキストの作成が行われています。

共同獣医学部では、このコア・カリキュラムを実施するために教育体制の改善を急ピッチで進めています。共同獣医学部の教員数は65人に増えますが、教育内容を考えた場合、最終的には72人以上の教員数が必要と考えています。教員が増えれば学生たちは幅広い分野について深く学ぶことができるようになります。山口大学は伴侶動物(ペット)の獣医療や感染症対策・公衆衛生、鹿児島大学は高度産業動物獣医療といった、それぞれの得意分野を連携・補完しながら、世界レベルの教育・研究の実践を目指していきたいと思います。

設備や施設の準備も着々と進められています。両大学の学生が同じシラバスと時間割に従って受講できるよう、大学間ネットワークによる遠隔授業システムを本年中に5教室ずつ設置します。これは、地域という枠を越えて、リアルタイムかつ双方向な学びの場を提供するものです。

これによって、これまで鹿児島大学でしか受けられなかった授業が、山口に居ながらにして受けられるようになります。また、本学では感染症の特別実習が行えるよう、P2レベルの実験室も建設中ですし、P3レベルに対応した実習室の設置も検討しています。

大学への入り口は、山口、鹿児島と異なりますが、受けられる教育内容は同じです。教育体制や施設も含めた全体のレベルアップを図るため、今後さらに改善を重ねていきたいと考えています。

共同獣医学部設置によって 期待されるメリット

共同獣医学部の理念は、「人類と動物の健康と福祉に貢献すること」です。我々は、国際的な問題に意欲的に取り組める人材、世界レベルの高度獣医療ならびに生命科学研究に貢献できるような志の高い人材を求めています。

現在、本学の獣医学科を卒業した学生の多くが、小動物臨床獣医師として県立っています。しかし、動物病院に限らず、農林水産省や厚生労働省、地方自治体など、卒業後の進路は多岐にわたっていますし、必要とされています。また、日本国内では産業動物獣医師や自治体勤務獣医師の不足も指摘されています。共同獣医学部の設置により、卒業後の可能性がさらに広がり、職域の偏在化も解消することが期待されています。

わが国にとって初めての試みである共同学部の設置は、少子化が進む今後の大学教育を考える上において、大変重要な意味を持っています。我々教員もプレッシャーを感じると同時に、必ず成功させたいという熱い想いをもって取り組んでいます。

公務を仕事にするということ

センパイたちはどんな仕事に就いているの？

在学中はどのように過ごしていたの？

そこで、「考える就職活動」第5回目は、

山口大学を卒業後、山口県職員として

活躍されている前田慎一郎さんに

大学時代の思い出や

現在の仕事についてお話を伺いました。

Q1. 公務員になろうと思ったきっかけは？

A.もともと地元志向が強く、大学に入ったころから公務員を目指すようになりました。さらに、大学で地域経済学を学ぶうちに、地域振興に興味を持つようになり、次第に地域づくりに真剣に取り組んでみたいと考えるようになりました。そこで、3年次の前期までに卒業に必要な単位をほとんど取得し、残りの期間は公務員試験対策や就職活動に余裕をもって取り組みました。

Q2. 在学中の思い出を教えてください。

A.胸を張って言えるのは、大学時代に勉強に打ち込んだことです。経営をはじめ、経済、法律など、幅広い分野について深く学びました。公務員試験に備えて、個人で通信教育も受けましたが、一人だとなかなかかかどりませんでした。そこで、公務員を目指す仲間たちと情報を交換したり、励まし合ったりして乗り越えてきました。同じ目標を持つ仲間の存在は、とても励みになりましたね。

Q3. 実際に公務員になってみていかがですか？

A.県職員の魅力は、さまざまな分野の仕事を経験できるということです。これまで、福祉や税金、農業など、それぞれ異なる分野の仕事に携わってきました。入庁当時、日々の実務経験の中で、とても学ぶことが多かったです。おかげで自分の知識や視野を広げられるのと同時に、山口県の



前田 慎一郎 Maeda Shinichiro

山口県萩市出身、山口市在住。山口大学経済学部卒。平成6年4月、山口県庁に入庁。
現在は、健康福祉部 医療保険課 医療指導班 主任。

魅力を多方面から知ることができました。

現在は、主に医療法人の設立に関する仕事、医療費適正化計画に関する仕事などに携わっています。組織のなかの一部分ではありますが、その仕事を深く任されているという誇りと、たくさんの人々の役に立っているというやりがいを感じています。業務をスムーズに進行させるために、職場のコミュニケーションや人間関係を大切にしています。特に、グループ内の報告・連絡・相談は欠かさないようにしています。税理士や司法書士などの、医療機関以外の専門家の方々と接する機会も多く、多くの人々と協調して一つの仕事をやり遂げることに魅力を感じています。仕事を通していろいろな職業の方と接することができる点は、とても刺激になりますね。

Q4. 最後に、在学生へメッセージをお願いします。

A.早い時期から、目標や目的意識など、自分の軸となるものを身につけることが大切だと思います。そのためには、本を読んだり、いろいろな人の話を聞いたりして、知識や考え方の幅を広げておくことが大切です。もし、苦手なことがあれば、それを克服しようとする努力も必要だと思います。日々の授業の中でいろいろなことに興味を持ち、目の前にことに一生懸命取り組んでいれば、必ず進む方向が見えてくると思いますよ。

就職関連情報

■自主活動ルーム

吉田キャンパスの共通教育棟1階にある、学生の自主的な活動を支援するためのスペースです。活動内容を「学生の自主的・創造的活動」と「おもしろプロジェクト」に大別し、学生たちのさまざまなチャレンジをサポートしています。さらに、ボランティア活動や地域社会との連携活動など、正課以外の社会体験の機会も紹介しています。さまざまな交流体験活動を通して、新しい自分を発見するだけでなく、自主性や社会性、創造性を高めることを期待しています。

■O-HARA山口大学就職支援施設

吉田キャンパス内に設置されている、大原学園グループとの連携による就職支援施設です。大学の敷地内に民間の就職支援施設を設置するのは、国立大学では初の試みです。就職試験対策講座や資格取得講座を開講し、公務員試験や高度な資格試験にチャレンジできる学習環境を整備しています。一部の講座では、VOD(ビデオ・オン・デマンド)室を利用して、自分のスケジュールに合わせて、都市部で行われる授業をパソコンで受講することができます。

開設講座／公認会計士、税理士、公務員、司法書士、行政書士、宅地建物取引主任者、簿記1・2・3級など



こちら



Y U - P R S S !

“Yamaguchi University Public Relations Student Staff” 略してYU-PRSS(ユープラス)。
「山大生のあなた(YOU)にも、そうではないあなた(YOU)にも“プラス”になる情報を届けたい」と
想いを込めて名付けられました。現在13人のメンバーにて、山口大学の広報活動を行っています。

NEWS&TOPICS

私たち学生スタッフが、山大の最新の話題やニュースをお届けします！

01

『創基200周年』情報

第1回「フォトコンテスト」

(「写真で残そう！山大なう」～山口大学の“今”を永遠に～)
を開催しています！

2015年に山口大学は創基200周年を迎えますが、山口大学の“今(なう)”を本学にゆかりのある方に伝えていきたいということを趣旨として、「フォトコンテスト」を開催しており、多くの方からの作品を募集しています。

なお、応募作品の中から選考の上、金賞1名、銀賞2名、銅賞3名を決定し、賞状及び副賞を進呈します。

募集要項

○応募条件

- ・山口大学(附属学校を含む。)の“今”を伝える写真
(キャンパス内の風景や 建物、教室内、サークル活動等々)
- ・山口大学(附属学校を含む。)在校生、教職員、卒業生、関係者
- ・お一人何回でも応募できます(ただし、1度の応募は3点まで)
- ・応募にあたっては、応募規約に同意いただいたものといたします。

○応募期間

・2011年10月1日～2012年3月31日

○応募方法

- ・所定の応募フォームから、必要項目に入力の上、画像データを投稿してください。
- ・写真データの容量は2MB以内。フォーマットはjpeg又はpngでお願いします。写真データの加工は行わないで下さい。

※「フォトコンテスト」の詳細については、以下のホームページアドレスのサイトを御覧下さい。

<http://www.yamaguchi200.jp/index/page/id/12>



02

時間学研究所の

藤澤健太教授の研究グループが、
星の形成過程の観測に成功！

時間学研究所の藤澤健太教授の研究グループが、大質量の星の形成過程の様子を知る観測に成功し、平成23年12月8日(木)、記者発表を行いました。

この発表では、藤澤教授及び杉山学術研究員が、宇宙を構成する重要な天体である星の誕生を電波望遠鏡で研究しているなかで、形成途中の大質量の星の周囲にはガスの円盤があり、そのガス円盤は回転しつつ、中心の星へ落下運動をしている様子を世界で初めて直接観測することに成功したことにに関して説明をしました。

今後の展望については、観測対象を拡大し、この結果が普遍的なものか確認していくこととし、また、国内に留まらず、東アジア地域と連携して研究を行っていくことも述べました。

本学は、国内で唯一の時間学研究所をより充実させ、今後も世界をリードする研究の推進を目指しています。



03

学長表彰授与式を 挙行しました！

国際ピアノコンクールや今年度の山口固体などで顕著な成績を収めた本学附属学校の学生や職員に対して、表彰状などを贈呈する学長表彰授与式を、平成23年12月14日(水)に挙行しました。

教育学部附属山口中学校の石田成香さん、教育学部附属光中学校の小泉維吹さん、教育学部附属特別支援学校高等部の田中雅俊さん、情報環境部学術情報課職員の巨海裕典さんの合計4人が学長表彰を受けました。

石田成香さんはアメリカで開催された「国際ピアノコンペティション」ヤング部門で佳作を受賞、小泉維吹さんは第66回国民体育大会のセーリング競技(少年男子)で優勝、田中雅俊さんは第11回全国障害者スポーツ大会の陸上競技(少年男子)50m走で第2位、100m走で第4位、巨海裕典さんは同じく第11回全国障害者スポーツ大会の水泳競技(青年男子)25m平泳ぎで優勝、50m自由形で第3位という成績を収めました。



【YU-PRSS(ユープラス)とは?】「キャンパスライフ」、「ワイヤーインフォメーション」の制作に携わる山口大学広報学生スタッフです

YU-PRSSメンバー

林田 久恵／原内 由佳／桐原 祐太／国本 亮／久保田 法彦／入江 貴博／佐々木 裕美／黒江 那津子／長岡 奈緒子／前田 梨乃／吉岡 優一／河島 あかね／溝口 明音

■追加メンバー募集中！

主な仕事は、山口大学のホームページ内にて毎週更新されている「キャンパスライフ」ページの作成と山口大学広報誌「ワイヤーインフォメーション」の制作補助です。取材・撮影・記事執筆といった、企画・編集業務に興味のある方、一緒に活動してみませんか？

詳しくは下記アドレスまでメールしてください。

E-MAIL:campus@yamaguchi-u.ac.jp

キャンパスライフURL:http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~campus/campus_life%20_web/

■感想、取材依頼などお気軽にメールしてください！

今号についての感想や、今後こういった特集はどうだろうといったアイデア、こんな人を取材して欲しいといったご要望も受け付けております。また、「私たちを取り材して欲しい」といったサークルやグループも大歓迎です！たくさんのメールをお待ちしています。

「志」つなぎ 伝える
二百年



—創基200周年—

山口大学

YU-INFORMATION
2012 JANUARY No.105

山口大学広報誌